



スペ-GUN-NEWS

第48号



今年度も、何とか無事に法人の全ての活動が終わろうとしています。
この一年の会員の皆さま、関係機関の皆さまのご理解とご支援のおかげです。

本当にありがとうございました。

同時に、子どもたちに関わるスタッフ全員が、
活動を理解し日々真摯に子どもたちと向き合う姿勢と努力があったからこそ、
無事に活動を終えることができたと思っています。

法人を代表して深く感謝の意を表し、
大過なくこの一年を振り返ることが出来る喜びを感じております。

◆◆◆ 子どもの居場所「リリーフ」より ◆◆◆

【静かに、確実に…】

今年に入って近隣に住む中3の受験生が勉強をしに来館する姿が見られました。彼らが中1の頃、落ち着きなく走り回っていた姿を見てきたスタッフとしては、今の黙々と問題を解き、使い込まれたノートを見返す姿に、「頑張ってるねえ…！😊」と何度も声を掛けてしまうほど感動……！ 静かに、確実に成長しているんですね。



また、今年度は《学校や家以外の居場所》として、先生との面談の場にリリーフを利用する子や、



定期的にスタッフと静かにゆっくりお話して過ごす子が多かった印象です。会話が苦手な子とは、ホワイトボードを使ったコミュニケーションを取り入れるなどの配慮を心掛けながら、交流ができました。

たまに、高校生になった子たちが「久しぶりに卓球しに来ました」と顔を見せてくれたり、「大学合格しました！」と報告しに来てくれたりと、元気そうな顔が見られることが何よりうれしい瞬間です。

【個性いっぱい！リリーフイベント】

12月はクリスマスのモールオーナメントやホイップ糊のパフェ小物作り。1月は毎年恒例の書き初め。今年も個性いっぱいのリリーフの壁ができました。

(よかったら”壁“見にきてください！！)

2月のパンケーキ作りは、一口サイズのものから、3段重ねのボリュームミーなものまで。部屋いっぱいに甘くて幸せな香りが立ち込めていました…♡これまでのイベントは、みんなで一緒に！という形でしたが、2月のイベントは、期間中に来た子どもたちと随時、スタッフが一緒にお菓子を作るという形にしてみました。参加者は少なかったものの、ニコニコと楽しそうに作る姿が見られたのは、良かったところです！



(S)

【NPOブログがより安全で見やすくリニューアルしました！！】

前回のस्पегんニュースでもお伝えしておりましたが、「リリーフブログ」と「स्पегん倶楽部」2つのブログを統合した新しいNPOのブログができました！
これまで通り、毎週更新中！！リリーフの急な開館時間の変更やNPOの活動なども発信しています。ぜひチェックしてみてください👁️

「स्पегん倶楽部」<https://www.npospegungun.jp/>



◇◆◇ 適応指導教室「ぐんぐん」より ◇◆◇

今年度は小1～中3まで、10名の通室がありました。今年度は利用者の増え方がゆるやかでしたが、2月頃から見学・体験の問い合わせが増え、現在新たに数名が来年度に向けて体験中です。

前号でも紹介しましたが、ぐんぐんでは学習以外に、ギターや電子ピアノ、パソコン、美術、手芸や工作等、本人の興味のある活動を取り入れています。「少し興味がある…」ところからスタートし、見事にハマって、みるみる上達していく子もいます。先日卒業した中3生は、弾いてみたい曲を電子ピアノで1年間、ぐんぐん卒業の日ギリギリまで練習していました🎹。ぐんぐんの卒業式にはご両親も来てくださったので、こっそり聴いていただくことができました。😊🌸（親御さんの前では絶対弾いたことがなかったらしい・・・）



学習にはなかなか気持ちが向かなかった子が、「パソコンなら…」とチャレンジする場面もありました。高校生活やその先で役に立つかも！と文書作成や表計算、画像作成の基礎を講師の先生に教えていただきました。少し自信がついた表情で帰っていきました。

キャッチボール、風船バレー等、体を動かす活動も利用者の実態によっては取り入れますし、低学年の子とは、「ごっこ遊び」を通して国語・算数の学習に繋げることもありました。幼少期からの遊びや体験の大切さを改めて感じる1年でした。

ぐんぐんでは滅多に利用者同士を交流させることはありませんが、今年度は初めてその機会を作ってみました。というのも、「絵の描き方を学びたい子」と「その技術を持った子」が偶然同じ曜日に通室しており、私たちスタッフも長く彼らと関わる中で、2人だったら交流させてみるのは互いのために有効だな、と感じたからです。本人たちの意思、そして保護者に確認をとって、段階を踏んで慎重に話を進めました。当日はもちろんスタッフも入り、本人たちは初対面でしたがとても和やかな空気。教えてもらう子は積極的に質問をしながら、教える子はその都度質問に答えながら、実際に描きながら、丁寧に教えてくれました。わずか1時間弱の時間でしたが、対スタッフの時とはまた違う彼らの様子を見て、とても良い時間になったと感じました。後日保護者の方にお尋ねしましたが、ともに良い経験だったと、思ってくれている様子でした。😊

「好きなこと」でパワーをチャージすると、多くの子が「ちょっとやってみようかな？」と学習にも意欲的に取り組むようになります。春から支援を始め、週に1回ぐんぐんで学習を積み重ね、



登校日数が増えたり完全に学校復帰した子もいます。苦手さの軽減もできたらいいですが、まずは好きなこと・できることをどんどん伸ばして、本人の自信につながる支援ができるよう今後も努めていきたいです！（T）

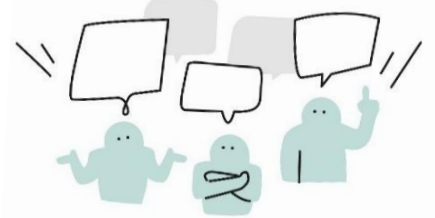
一人ずつ卒業式を。ご両親も参列してくださいました！

◆◆◆ 理事長 より ◆◆◆

○今年度の活動とその成果

今回も、適応指導教室「ぐんぐん」、子どもの居場所「リリーフ」の具体的な活動の様子はスタッフから報告させていただいています。子どもたちが生き生きとのびのびと、そして“ぐんぐん”と成長した様子を感じて頂けたでしょうか？

適応指導教室「ぐんぐん」は、利用者の多くが中学生でしたが、最近では小学生の利用者が増えて、これまで以上に、支援内容の協議、教材選び、スタッフの役割分担等、綿密な打ち合わせを行いながらの日々でした。その日の支援が終わると、玄関ホールで子どもたちを見送りますが、姿が見えなくなるとその場が、即、振り返りの場になっていました。スタッフが感想、成果や課題を出し合い、次回の支援に活かしていました。1年以上支援を続けた児童は、年度途中に学校復帰を果たすことができました。この経験は、とても大きな成果でした。



一方、子どもの居場所「リリーフ」でも、子どもたちに何かしらの配慮をしながら受け入れをしていました。元気な男の子の集団がわあ〜とやってきてワイワイ元気に過ごした時期もありましたが、配慮を要する子が来館した時は、集団と距離を置く方がいいか、部屋の中でもどのポジションで過ごすか等、子どもが“安心して過ごす”ことに配慮をしていました。

スタッフは、子どもたちが来ればにこやかに受け入れながらも、一人ひとりの異なった関わり方を反芻しながら？！適切に関わってくれていました。今年度も無事に終わることができたのは、こうしたスタッフの自覚と努力があったからこそです。法人設立 20 年目を迎える今年、スタッフのきめ細かな対応が子どもたちの生き生きとした表情に繋がったと思え、“子どもの最善の利益”を求める活動に少しだけ近づけたかな、と確信しています。様々なタイプの子どもたちとの関わりを毎年経験できることは、子どもに関わる施設としては貴重なことです。この 20 年、たくさんの出会いと大切な体験をさせてもらっています。子どもたちには、来てくれてありがとう！とお礼を言いたいです！！

○卒業式に参列して感じたこと

今年も中学校の卒業式に参列させて頂きました。中学校の卒業式は、教育相談室に勤務している頃から出席させて頂いているので、もう何十回目かわからなくなるくらいです。これまでいろんな卒業式を見てきました。学校が“荒れている”と言われていた時代のことはとても印象に残っています。当時は、一人ひとり、校長先生から卒業証書を授与されていました。呼名の後、元気に返事をして、自分の席から壇上の校長先生の基に歩き始めた女子生徒。式場に入場した時は、特に気にもかけなかったのですが、なんと、壇上に上がる頃には、セーラー服の丈が極端に短く、更に、当時はやりの「スケバン刑事」（ご存じかしら？）並みの長いスカートになっていて・・・周囲の子たちは大盛り上がり。当の女子生徒は、



ピースサインをしながら舞台から降りていきます。厳粛な雰囲気は急変、会場がどよめいたことがありました。教師と生徒の関係がとても困難な時代の出来事です。しかし、最近は、子どもたちが自分たちの門出の行事であると、しっかり自覚を持って式に参加していて、それが自然に厳粛な雰囲気を醸し出しているように思えます。素晴らしい変化ですし、先生方のご努力を感じます。

今年の卒業式は、先生方が子どもたち一人ひとりと強くしっかり繋がっているなあ、と感じる、暖かで感動的な式でした。代表の答辞を聴きながら涙する子どもが多かったですし、来賓の祝辞に、頭を下げてお礼の気持ちを表せる子がとても多くいたことに驚き、感動しました。子どもたちにとって、学校が安心して学べる場所であったこと、卒業式の意味を、教師と生徒がしっかり学んで、この場に臨んでいるように感じ、胸が熱くなりました。実は、今年の卒業式は、顔見知りの子が多かった、というのも感動した要因かもしれません。入学式の時からなんとなく落ち着かない子が多いな、という印象で、初めて「リリース」にこの子どもたちが来た時は、“大丈夫かな？学校ではどんな様子かしら？”と随分心配した記憶があります。スタッフ同士で、声のかけ方や関わり方を確認したりしながら、見守ってきた子どもたちです。素直で、嫌みが無くて、何だか可愛いんだけど、とにかくソワソワ、ふわふわしているので、危なっかしくて仕方ない、と思っていました。

スタッフの“リリース報告”にある子ども、本当に心配でしたが、中2の夏休みを機に、一人で黙々と勉強するようになりました。きっかけは定かではありませんが、親御さんが、リリースで勉強教えてもらってこい！と送り出してくれたようです。しかし、何といても学校の関わりがきめ細かだったのだと思います。3年生になり、夏休みの過ごし方も随分変わってきましたし、本人のペースを大事にしな

がらも、時々一緒にいて勉強のお手伝いをしながら、応援を続けてきました。卒業式の日、呼名で立った彼の姿はとっても凛々しくて、思わずウルツとしちゃいました。

卒業式から1週間後、久しぶりに、どっと子どもたちがリリースに来ました。なんともにぎやかな時間が流れました。

「学校とリリースは、やっぱり、子どもがおるとが一番よか！！」
とつくづく思える瞬間です。もう一度、みんな、卒業おめでとう！
これからも、応援していますよ！！



○コミュニティスクールの取組

志免町がコミュニティスクール制度を導入して数年たちます。学校はそれぞれの地域に根差して、地域の方の力をお借りしながら子どもと一緒に育てていきたい、という思いではありますが、全ての地域が同じように、“地域の子どもの関心を持ち、地域で育てる”というシステムにはなりません。子どもの数も違えば、高齢者もいらっしゃる。子どもにだけ関わるわけにはいかないので、温度差があるのも当然です。とはいえ、地域の大人がちょっとだけ子どもに関わってくれて、子どもが居たら、“おはよう”“気をつけてね”“大丈夫ですか？”と声をかけて頂けたら、有難い！と思います。高齢者の方にも、然りです。「こんにちは！」「久しぶりですね」「気をつけて！」とお声をかけて頂ける地域であれば、殊更“コミュニティスクール”で子どもを育てていきましょう、と叫ばなくてもいいのかもしれませんが。

以前、地域の方に子どもに関心を持ってほしいと書いたことがありました。何か新しい取り組みを、という訳ではなく、意識のある大人が、もっと自信を持って、主体的に、子ども達に声をかけて欲しい、と願うばかりです。但し、ただしです。世の中、みんな子どもが好きとは限らない。子どもが嫌いな方もいらっしゃるし、嫌いじゃないけど、苦手？！な方もいらっしゃる。そんな方はどうか無理をなさらず、と申し添えます。子どもの存在に気づき、声掛けをしてくれる大人が増えてくれることを切望します。そんな大人がいる地域が、それがコミュニティスクールの基礎ですから・・・。



◆◆◆ スタッフコラム ◆◆◆

「さあ来いしあわせ」今年の書き初めの言葉です。

「待ってるぞ～幸せ」「今日幸せだけでもっと幸せに！！」「幸せ」って全て自心の持ちようなんですけどね。ということで、私チャレンジしています。

- ・年をとっても自分の足でいつまでも歩いて楽しめるように
- ・実家の父母の手伝いをして疲労が出ない体力をつくるために
- ・お金がかからなくて楽しめる趣味（いや～色々出費はあるんですけどね）で、「走っています！！」

60才を目前に走り出しました。さあ幸せは来るのか？

○まずは疲れにくくなりました。（実家の往復でヘトヘトだったのが…それが無くなりました。）

○体力つきました。そして、1km走るのがやっとだったのが2km、3kmと走れるようになり、なんやかんやで10km走れるようになりました。足腰が強くなってきました。

大会にも出てみようと思いエントリーしてみました。初参加で福岡マラソン funrun 5km、天神～百道までいつも車で通る街のど真ん中の道を走りました！気持ちよかったです。

次に鹿児島マラソン8.9km、桜島を眺めながら錦江湾沿いを走ってきました。

さあ最後は「海の中道はるかぜマラソン」10km、これはキツかった～！！そして10km走れた一と気分は上々。「幸せ」来ましたよ！帰りはお腹ペコペコで丸源ラーメンに行きました。美味しいものを食べれてこれも「幸せ」でした。海の中道はるかぜマラソンには、私の知人も参加していて、マラソン後も楽しい話ができて「幸せ」でした。

たくさんの「幸せ」感じています😊

「さあ これからも どんどん来いよ しあわせ」 皆様のそばにはどんな「幸せ」がありますか？

(A)



◆◆◆ いつもありがとうございます ◆◆◆

NPO法人の活動は、皆様からの会費・寄付金に支えられています。

いつも温かいご支援・ご協力ありがとうございます。

毎年多額の寄付金を続けてくださっている方もおり、本当に感謝でいっぱいです。

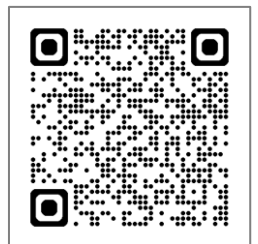
年会費は4月から翌3月までを1年間とし、“寄付金”は年間を通して随時受け付けています。



NPO法人 スペース de GUN²

事務局 〒811-2202 福岡県糟屋郡志免町志免3-1-22
お問い合わせ先 **090-9470-5749**
または **092-577-4098**

新ブログはこちら↓



2026年3月 NPO法人 スペース de GUN² 発行